

# 富士山

浅間大社奥宮で祈る

2022年6月25日(土) L: 齋藤

## 6月25日(土)くもりのち晴れ

1日間だけだけど久しぶりの自分だけの時間。有意義に使うぞ！ってことで富士山へ。目的はお祈り。前日23時に富士宮5合目に着。風が強くて霧がグルグルと色んな方向に巻いている。霧雨。外から見たらここは雲の中なのかな？車両は揺れ揺れ。てんくらで状況確認したら、あらまあ山頂の風速は30m/sだそうなの。

		明日 6/25(土)			
時 間		00	03	06	09
登山指数					
高度4400m付近 (600hPa)	気温	4°C	4°C	4°C	3°C
	風(m/s)	➤30	➤31	➤28	➤23
高度3100m付近 (700hPa)	気温	11°C	11°C	11°C	11°C
	風(m/s)	➤30	➤30	➤28	➤24
時 間		12	15	18	21
登山指数					
高度4400m付近 (600hPa)	気温	3°C	3°C	3°C	3°C
	風(m/s)	➤20	➤21	➤22	➤22
高度3100m付近 (700hPa)	気温	11°C	10°C	10°C	9°C
	風(m/s)	➤21	➤19	➤20	➤21

3時くらいから登りたいなあ程度に思っていたけれど、疲れているせいか起きたら4時半前。ぼちぼち支度して5時に出発。富士宮5合目登山口の封鎖は解除

されていたが、計画通り宝永山登山口から入山。なるほど、こうやって富士宮ルートに合流するのね。今後の糧になりました。

さて、雨は無いものの風は超強い。風で流されてゴミ拾いトングの先端が定まらない。拾いにくいわ～。



変わらずゴミだらけの山ですな

9合5勺からやっと雪。ブル道を使えば巻けるけれど折角だから雪面へ。今シーズンは様々な事で気持ちが落ちていて、仕事には忙殺されていて、雪山に行く時間も気分さえも無かったけれど、目の前に現れたらやっぱり登ってみたいくなる。前足をけり込んで、重心が安定した位置を確保したら、ピッケルを次のポイントへ刺し込んでいく。その繰り返し。単純作業のようでそうでもない。自分を守る

ための一步一步が大切。



### 思ったよりも刺さります

雪面を越えたらすぐに浅間大社奥宮。すごい風。



### 風の様子が全く伝わらない

身の回りで起きている事に対する幾つかのお祈りを捧げた後、剣ヶ峰に向かう。あ、見えた見えた剣ヶ峰。と写真を撮ろうとして右の手袋を外した時、強風に覆いかぶさるようにさらなる突風が吹いた。一瞬にしてワークマンのピンク手袋が遙か彼方に飛んで行った。やべー、手袋無しはまずい。まずいぞ。この気温、この風、凍傷になる。手拭いを巻けばいいか、と考えたけれど、真っ先に思いついたのは道中に拾った2つの手袋。ひとつは軽

作業用、もう一つは茶色の毛糸製。どんな人が使っていたものかわからないけど、保温性が高そうな毛糸手袋を使わせてもらおう。手を突っ込んだら砂でゴワゴワしていたのでひっくり返してはめた。

ということで無事に剣ヶ峰に到着。風が強いので写真を撮ってすぐに下山開始。



### 天気良いなあ。風強くて居られないけど

怪しい呼吸法のおかげか、今回も手のしびれはあるものの登りはほぼ頭痛無し。だけど下山開始からいつも通りの頭痛が始まった。これ、12時間くらい続くんだよね。風邪薬を忘れたことが悔やまれる。下山後、ネットで調べたら「労作性頭痛」ってやつなのかなあと。激しい運動をすると、脳近辺の血管がより多くの酸素を運ぶために拡張して神経を圧迫ね。ふーん。なんとなく納得しました。ん？高山病対策として、ゆっくり登るために毎回負荷水(6~11kg)を積んできているが、まさかこれは逆効果だったのかと言って負荷がなければその分速く登ることになるので激しい運動という観点からすれば一緒かな？

ゴミは相変わらずで、毎回大量すぎ。  
多いのはガラス、陶器の破片、空き缶。  
次に近年の登山者が落としたであろう、  
手袋、靴下、ストック、プラごみ、ペッ  
トボトル。以前よりもアメや塩タブレット  
の包装紙は減っていた印象です。

ま、それにしても今回はゴミに助けら  
れました。ありがとうございます。私が  
飛ばしてしまったピンクの手袋も、いつ  
か誰かがはめる時が来るのでしょうか。。



**重量 2.1kg でした**

<タイム>

富士宮口 5 合目 P(5:04)- 浅間大社奥宮  
(9:23)- 剣ヶ峰(9:46)- 富士宮口 5 合目  
P(12:38)

(齋藤 記)